

奄美野生生物保護センター  
ニュースレター

# 奄美の風だより



今年は1998年について台風の発生が遅く、また接近はあったものの通過が未だにありません(9/19現在)。台風銀座と呼ばれる奄美群島ですが、今はもう昔の呼称でしょうか。

台風は、私たち人にとっては災害を起こす恐ろしいものです。来てほしくないと思う方が大半でしょう。人の命を奪い、建物は破壊され、農作物に被害を与えます。マイナスな面ばかりで良いところはなさそうですが、自然界ではとても重要な役割があります。

台風などの低気圧は、海や湖などの水の循環に大きな役割を果たしているそうです。台風によって水がかき回されることによって①水温が下がる②底にある栄養が上に運ばれる③水底の泥が舞い上がることによって底の方まで酸素が供給される。このような効果があるそうです。

そして今年は、台風の発生が遅くなったため、海水温が上昇し、今現在もサンゴに大きな被害を与えています。日本で最大のサンゴ礁、石西礁湖は9割も白化しているそうです。奄美群島では徳島の睦と母間海岸で大規模な白化が起こり大きな被害となりました。日本のサンゴが大きなダメージを受けていることは、みんなで考えなければならない問題です。

全国での被害をみればなおのこと、台風は恐ろしく厄介なものと思います。しかし、現在、世界中の海水温が上がっている状況、そして今年のような異常な台風が多発するような環境になってしまっていることが大きな問題であるということをお頭に置いておかなければいけません。(吉田)

# 今の時期に見られる動植物



アカハラダカ

旅鳥。秋の渡りの時期、9-10月の間に見ることができ、数十から数千の群れとなって南下するのが観察できる。



ヘラサギ

迷鳥または稀に冬鳥。クチバシが平たいしゃもじ形をしている。くちばしを水中で左右に振りながら、泥の中の小動物を食べている。



クロミノオキナワズメウリ

奄美大島以南に生える琉球列島の固有種。低地から山地の林縁などに生えるつる性植物。ウリ科なので、実を割るとキュウリの匂いがする。



キンミズヒキ

日本各地に分布。低地から山地の路傍などに生える。和名は細長い花穂を金の水引に見立てたことによる。

## 今季の一枚 「ウミガメの孵化」

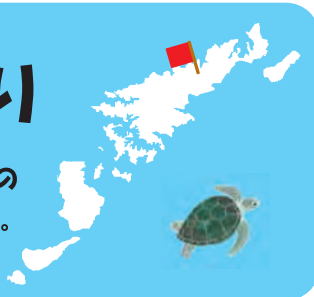


奄美群島では、5～8月頃までアオウミガメとアカウミガメが浜に産卵しにやってきます。7～9月頃には卵は孵化し、子ガメは海に旅立ちます。センターで調査をしている大和村での今年の状況は、アカウミガメの上陸・産卵は例年より少なく、アオウミガメは例年より上陸が多かったですが、産卵は例年通りでした。さて、孵化した子ガメたちは巣穴を出てからも海に旅立ってから多くの捕食者に狙われます。厳しい自然の中で何匹の子ガメが成体となって奄美に戻ってくるのでしょうか。厳しい自然の中を生き抜き奄美に戻ってくるのですから、きれいな海と砂浜を残していきたいですね。



# 奄美群島市町村だより

自分たちの地域の魅力を再発見し、また他の地域のことを知り、奄美の自然について理解を深めましょう。



今回は  
**奄美市**  
です



奄美市は希少種の生息する山林からサンゴ礁に囲まれた海岸線まで、変化に富んだ自然に包まれています。



奄美の花【シャリンバイ】

シャリンバイは本場奄美大島紬の染料のほか、道路の街路樹としても使われています。テーチ木とも呼ばれます。



## 自然環境に関するイベントのお知らせと報告



現在、奄美群島では「奄美群島世界自然遺産トレイル（仮称）」の開通に向けた取り組みが行われています。

トレイルとは、英語で自然道のことを指し、環境省のホームページでは「森林や原野、里山などにある「歩くための道」のこと。こうした道を、歩くはやさで旅するのがトレイル」と紹介されています。（環境省ホームページ | みちのく潮風トレイル>トレイル初心者ガイド）雄大な景色を眺められるスポットを歩いたり、その地域の人とふれあったりと、魅力の感じ方、楽しみ方は人それぞれ。国内では、東北地方の「みちのく潮風トレイル」や長野・新潟両県にまたがる「信越トレイル」をはじめとして多くのコースが開通しています。



今回は、住用地区で先日行われた現地調査についてお話しします。

住用地区ではこれまで地域の住民の方々と交えてワークショップを行い、いくつかのコース案が挙がりました。

9月13日（火）から14日（水）にかけて行った現地調査は、1日目に住用地区の川内・摺勝・東仲間集落のモダマ自生地やリュウキュウアユが生息する川内川沿いなどを、2日目に三太郎古道と呼ばれる昔の山道をそれぞれ実際に歩き、その後のワークショップで実際に歩いてみたコースの魅力や、準備が必要と思われることなど、様々な意見を出し合いました。

今後、コース選定や魅力的な情報発信などについて会合を重ね、今年度中のコース完成を予定しています。

【奄美市環境対策課】



# いきもののふしぎ ~ 外来魚のお話 ~

奄美群島の各島々で、外来魚が多く生息しているのを知っていますか？どんな外来魚がいるのか。そして、外来魚がいることによってどんな問題が起こるのか。みなさんと一緒に勉強していきたいと思えます。

## ポイント 外来魚はなぜ持ち込まれた？

外来魚は奄美群島だけではなく、全国的に問題となっています。持ち込まれた理由は食用や観賞用などです。特に戦後は食糧が不足したため、外来魚の養殖が盛んに行われていたようです。有名なオオクチバス(ブラックバス)やブルーギルも食用で持ち込まれました。しかし、時代の流れとともに飼育されていたものが、逃げたあるいは故意で逃がした、もしくは、釣りといったレジャーなどを目的として川に放流されました。そして現在、外来魚の数が増え、全国で大きな問題となっています。

### 奄美群島の各島で見られる主な外来魚

奄美大島：ジルテラピア、グリーンソードテール、カダヤシ、コイなど

喜界島：テラピア、グッピー、カダヤシ、コイなど

徳之島：テラピア、オイカワ、カダヤシ、コイなど

沖永良部：ジルテラピア、ナイルティラピア、グッピー、サザンプラティフィッシュ、カダヤシ、コイなど

与論：ナイルティラピア、カダヤシなど



## コイ・ソードテール・テラピアについて

現在、積極的に駆除されている3種を紹介します



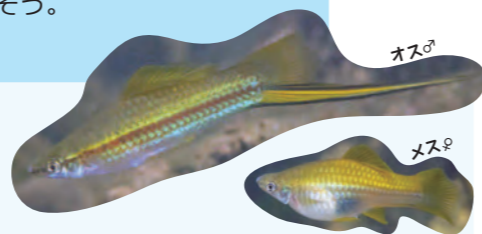
シルテラピア

### テラピア

原産地：アフリカや中近東

侵入経緯：養殖していたものが、逸出あるいは遺棄されたものと思われる。

特徴：雑食性で、背びれには固いトゲがある。イズミダイ又はチカダイと呼ばれ養殖され流通している。現在は下火のようだが、臭みがなくマダイの代用品として、養殖が盛んだったそう。



### ソードテール

原産地：メキシコ

侵入経緯：観賞魚として、世界中で親しまれている。奄美大島では、2011年以降に定着が確認されている。逸出あるいは遺棄されたものと思われる。

特徴：卵胎生(稚魚の状態でお腹から出てくる)のため繁殖力が強い。

### コイ

原産地：野生種もいるが、日本全国に広まっているコイはほぼ外来である。古くから人為的な移動が盛んな種である。野生種は関東平野や琵琶湖、四万十川など限られた場所に生息し野ゴイと呼ばれている。

侵入経緯：日本各地で養殖や観賞用として放流された。

特徴：雑食で、口に入るものは何でも食べる。口に歯はないが、のどにある咽頭歯という歯で貝や甲殻類を割る。

## 外来魚によって引き起こされる問題

外来魚はなぜ問題となるのでしょうか？

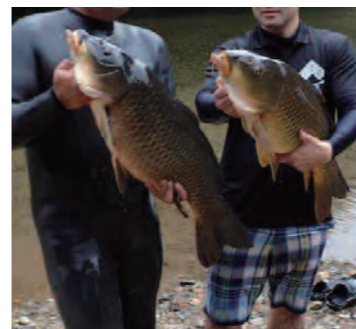
- 在来の動植物を捕食
- 在来の生きものとの競合(エサや生息地)
- 病気の伝播
- 外来魚を移入する際、他の生きものも混入し一緒に運ばれてしまっている。複数の外来生物が移入する事になる。
- 近縁種と交雑することによる遺伝的な攪乱

など

外来魚が持ち込まれることによってさまざまな問題が起こります。これらの問題が起こることによって、生態系を破壊、もしくは環境を変えてしまうのです。

## 駆除について

自治体などが駆除を始めている場所もあります。



### コイの駆除

体長 70cm、体重 8kg もあるコイが捕獲された。捕獲されたのは、奄美市住用町にあるリュウキュウアユが生息する貴重な川です。



### テラピアの駆除

奄美大島の川では、50cmもある大きなジルテラピアが捕獲され、2016年現在ですでに40匹も捕獲されています。しかし、まだまだたくさんいるようです。

## ポイント

奄美の川の主。在来の大型肉食魚。



オオクチユゴイ



オオウナギ

健全な川には、魚や甲殻類などを食べる在来の大型肉食魚がいます。ウナギやオオクチユゴイなどの大型魚がいる川では、外来魚が大量発生していないそうです。まさしく川の主ですね。

## 淡水で見られる外来生物

魚以外にも外来生物がはびこっています。



アカミミガメ



スッポン



カミツキガメ



アメリカザリガニ



## お知らせ

### アマミノクロウサギ事故防止キャンペーン

とき：平成28年9月1日（木）～10月31日（月）

アマミノクロウサギの活動が活発になり、交通事故の発生がより多い秋期に、地域住民や観光客等への安全運転の呼びかけなど、本種をはじめとする野生生物の保護に関する普及・啓発を図るキャンペーンを行います。



### 第17回やせいのいきもの絵画展作品募集

とき：2017年11月4日（金）必着

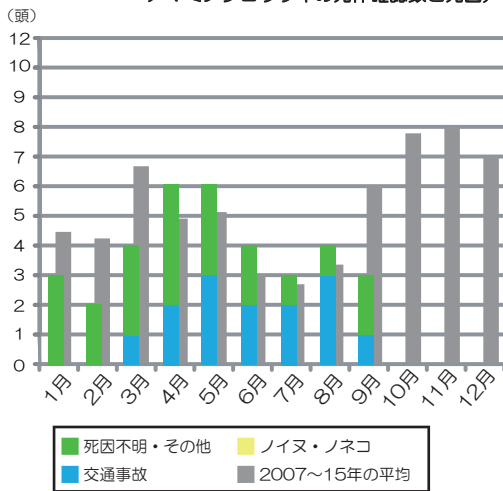
テーマ：シマの自然と言い伝え

毎年開催しています、やせいのいきもの絵画展を今年も開催します。今回は、奄美の文化にスポットをあてたテーマにしました。自然や生き物が登場する民話や島唄、自然への畏怖の念から生まれた妖怪や神の概念、自然の恵みから成り立つ伝統的な食文化、自然を利用した伝統工芸、自然との日々のつきあいから生まれた祭りや風習。これら自然との関わりには、私たちの普段の暮らし、または特別なときにおりにふれて目にするものもあれば、今では歴史に埋もれ、すっかりなじみがなくなったものもあります。この絵画展が、自分たちの文化を見つめなおし、または新しく見つけ出すきっかけになってほしいと思います。



### アマミノクロウサギ死体確認数

(2016年2月末日時点の  
アマミノクロウサギの死体確認数と死因)



※アマミノクロウサギがケガをしていたり、死んでいるのを発見したら奄美野生生物保護センターまで連絡して下さい。



### 奄美に住む動物たちのために、あなたができること

#### 安全運転

特に夜間の林道ではゆっくり走行しましょう。

#### 犬・ねこの適正飼育

野生化した犬・ねこは、アマミノクロウサギをはじめとした「奄美の森の宝」を食べしてしまうこともあります。



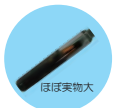
#### 捨てない

最後まで責任をもって飼いましょう。



#### マイクロチップ

ペットの確実な身元証明になります。



#### 避妊・去勢手術

繁殖制限することで、望まれない命を生み出さないことと、ペットの健康を守ることになります。



#### 放し飼いをしない

ねこは室内飼育、犬は室内もしくはリードをつけて外で飼いましょう。

### 犬・ねこに関するお知らせ

日頃から、ペットに対する災害の備えをしましょう。災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。その他には、ペットが迷子になった時のためにマイクロチップや迷子札を装着、エサや薬など備蓄品の用意もおきましょう。また、ケージがあると避難する際や避難場所で役立ちます。

### いきものおもしろ写真館



#### アマミイシカワガエル

法面の排水穴にイシカワガエルが3匹も重なっていました。排水穴は温度・湿度がちょうどいいんでしょうか？団子3兄弟ならぬイシカワ3兄弟ですね。ちなみに排水穴は、ヘビやネズミなども利用します。

### 編集後記

2016/9/16 奄美大島大浜海岸  
白化したサンゴ



今年はきれいなサンゴ礁でスノーケリングすることができ、サンゴの産卵も見ることができました。個人的にサンゴに接することが多かった夏でした。この美しいサンゴがいつまでも見られるように、見守っていかれたらと思います。